



28

水辺をたどる径づくり

みち



DATA・BOARD 28

- ①大分県大分郡湯布院町大字川南
- ②延長：210m，幅員：4～6m
- ③水路，広場，植樹，池，ベンチほか
- ④歩石タイル，地場産自然石



湯布院町は大分川沿いの水と緑に恵まれた地域にあり、自然環境との調和をめざしたまちづくりを進めている。

この「水辺をたどる径づくり」では、通行路としての機能性だけにとどまらず、地域住民のうるおいの空間として、また自然とのふれあいを求めて湯布院町を訪れる観光客に魅力ある景観を味わってもらうことを目的に施工したものである。

整備にあたっては、沿道に花壇やせせらぎ、池などを設け、歩道の表面はタイルで仕上げている。また、花の小径、竜神の広場、せせらぎの小径とパターンを変化させたゾーンを設け、四季折々の花とともに訪れる人々の目を楽しませている。池には、コイも放流されており、老人や子供たちの餌を与える姿が見られ、地域の人々も愛着をもつ道である。

●ふるさとの風景にとけこむ道